【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【公開番号】特開2021-107593(P2021-107593A)
【公開日】令和3年7月29日(2021.7.29)
【年通号数】公開・登録公報2021-033
【出願番号】特願2019-238834(P2019-238834)
【国際特許分類】
Ｄ０４Ｈ　3/16　(2006.01)
Ｄ０４Ｈ　3/12　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　5/26　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/49　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０４Ｈ　3/16
Ｄ０４Ｈ　3/12
Ｂ３２Ｂ　5/26
Ａ６１Ｆ　13/49　３１２Ｚ
Ａ６１Ｆ　13/49　３１５Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和3年6月17日(2021.6.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
お互いに直交する第１方向、第２方向及び厚さ方向を有するとともに、第１方向に伸縮可能である、吸収性物品用の積層不織布であって、
前記積層不織布が、前記厚さ方向において、第１不織布と、第２不織布と、第１不織布及び第２不織布の間において、第１方向に延びているとともに、第２方向に離間した状態で配置されている、複数の弾性部材とを備えており、
第１不織布及び第２不織布の少なくとも一方が、第２方向において、高坪量部と、当該高坪量部よりも坪量の低い低坪量部とを交互に有する交互構造を有する不均一坪量不織布であり、
前記複数の弾性部材のそれぞれが、第１不織布及び第２不織布に接着剤で接着されている、
ことを特徴とする、前記積層不織布。
【請求項２】
前記不均一坪量不織布が、前記交互構造を、第１方向の任意の領域において有する、請求項１に記載の積層不織布。
【請求項３】
前記低坪量部の少なくとも一部が、前記複数の弾性部材と、前記厚さ方向に重複するように配置されている、請求項１又は２に記載の積層不織布。
【請求項４】
前記高坪量部が、第１方向に沿う方向に連続している高坪量部連続領域を有する、請求項１～３のいずれか一項に記載の積層不織布。
【請求項５】

前記積層不織布が、前記高坪量部と、前記低坪量部とを、それぞれ、第１方向に沿う方向に延びている、複数の線状高坪量部分と、複数の線状低坪量部分として備えており、
前記複数の線状高坪量部分のそれぞれと、前記複数の線状低坪量部分のそれぞれとが、第１方向に沿う方向と直交する方向に交互に配置されている、請求項１～４のいずれか一項に記載の積層不織布。
【請求項６】
前記積層不織布が、前記低坪量部と、前記高坪量部とを、それぞれ、所定の面積を有する、複数のドット状低坪量部分と、当該ドット状低坪量部分を囲む囲繞高坪量部として備えている、請求項１～４のいずれか一項に記載の積層不織布。
【請求項７】
前記複数のドット状低坪量部分が、千鳥状に配置されている、請求項６に記載の積層不織布。
【請求項８】
前記不均一坪量不織布が、熱融着性繊維を含む熱融着性不織布である、請求項１～７のいずれか一項に記載の積層不織布。
【請求項９】
前記熱融着性不織布が、スパンボンド不織布である、請求項８に記載の積層不織布。
【請求項１０】
前記不均一坪量不織布が、貫通孔を有していない、請求項１～９のいずれか一項に記載の積層不織布。
【請求項１１】
第１不織布及び第２不織布の両方が、前記不均一坪量不織布である、請求項１～１０のいずれか一項に記載の積層不織布。
【請求項１２】
請求項１～１１のいずれか一項に記載の積層不織布から構成される部材を備えている、吸収性物品。